



『「困った子」は いない』

沼津市教育長 奥村 篤

新元号「令和」の発表とともに、新年度がスタートしました。校庭の桜の木々は新緑に包まれ、春風になびいています。毎朝、子供たちはいろいろな思いをカバンに詰めて、地域の方々に見守られながら登校します。登校の様子、その表情や挨拶、何気ない会話などから、その日のその子の心持ちや体調などを推し量ることができます。一つ学年が上がって心躍る気持ちや、爽やかな春風に応援されて身体中に力がみなぎる様子等が伝わってきます。私たちも、子供たちの「春風」になれるように、頑張りたいものです。

先日、平成30年度の市内小中学校における「問題行動」や「不登校」等に関する報告がありました。小学校では「問題行動」（授業放棄・妨害、暴力行為）が、中学校では「不登校」（出現率）が前年を大きく上回るという内容に、目が止まりました。

子供たちは様々な「問題」を抱えて生活しています。何度も失敗し、立ち上がり、苦しみを笑顔に包みながら、自分を認め分かってくれる人を頼りにして歩いています。だから「問題」に見える行為の裏には、認めてもらいたい思いや、ほめてもらいたい思い、自分でもどうにもできないもがきなどが渦巻いているのです。

学校へ行けないでいる子供たちは、「行かなければならない」と思いつつ「行けずに」いて「困っている」のです。そうして「困っている」けれど、自分でも処理できないから、「問題行動」や「不登校」という形をとってしまうのです。その子供の心のもがきを理解することができると、「困った子だ」と考えずに「困っている子だ」と見ることができます。

目の前の子供が何らかの「問題行動」を起こしたとき、「この子は困っているのだ」と見る余裕が大人にあると、子供への接し方も変わるのではないのでしょうか。「問題行動」を正すためには、たとえば社会規範から逸脱した行為を行ったなら、まず「その行為を厳しく叱る」ことが必要です。その場合「行為以外は叱らない」ことが鉄則です。そして次に、「問題行動」という形で表現した子供の心のもがきを、しっかり受け止めることが大切だと思います。

これから新たな時代を迎えます。子供たちが自らの可能性を膨らませ、夢に向かって志を立てて頑張ることができる1年となりますように、地域の大人の誰もが、地域の子供に関わることを期待しています。

最後になりましたが、お忙しい中で、青少年の健全育成に関わってくださる皆様に心より感謝申し上げます。今後とも御協力をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

青少年教育センターの方針・活動



1 方針

青少年の健全育成を図るため、家庭をはじめ地域・学校・警察他関係機関と連携し、補導・教育相談・研修を行います。

2 活動

(1) 補導

① 補導活動

中央補導と地区補導の活動の充実を図るとともに、夏まつり・県内一斉等の特別補導を行い、青少年の非行・被害防止に努めます。

② 環境浄化活動

高校生参加による落書き消しを行い、意識啓発を強化するとともに、「青少年を取り巻く社会環境の実態調査」を行い、地域ぐるみの有害環境浄化活動を推進します。

③ 広報・啓発活動

青少年教育センター「たより」と年報「ねんりん」を編集・発行するとともに、「青少年の非行・被害防止街頭キャンペーン」を実施します。

(2) 教育相談

① 面接相談

不登校・発達などに関する相談全般について、面接による相談に応じます。

② 電話相談（やまびこ電話）

青少年に関する相談全般について、電話による相談に応じます。

③ 体験活動「はばたき」

青少年教育センターに通所する不登校児童生徒のための体験活動を実施します。

④ 相談指導学級

青少年教育センターに通所する不登校児童生徒の内、沼津市教育委員会が認めた児童生徒が通級します。

⑤ 青少年健全育成地域相談員

各地域にいる相談員が、地域の青少年健全育成活動への援助と相談を行います。

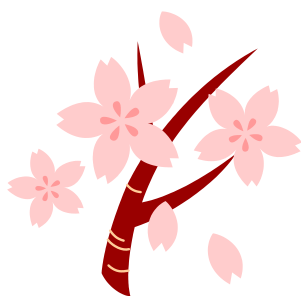
⑥ 子どもの育ちを支える講座「そよかぜ」

子どもの心や体の発達を理解するための保護者向け講座を行います。

(3) 研修

教職員研修センターが主催する「若手教員研修」における相談指導学級での体験研修を実施します。

面接相談



◎非行・不登校・発達・子育て・進路・対人関係など
 青少年に関する面接相談。
 ◎相談および申し込み受付時間：
 午前9時～午後5時 月～金曜日（祝祭日を除く）
 ◎相談申し込み：Tel 951-3440

平成31年1・2・3月の状況

各月及び平成30年度の新規相談件数、平成30年度の相談ケース数及び延べ相談回数は以下のとおりでした。

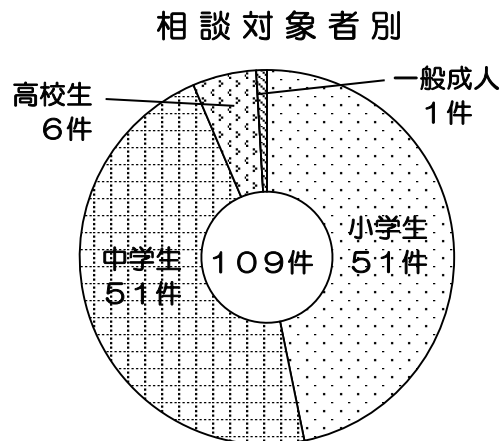
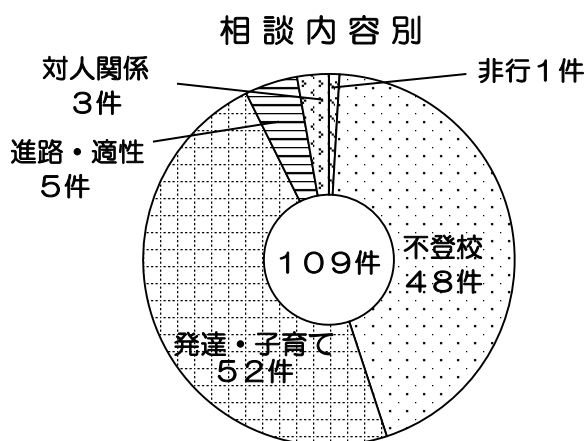
1 各月の新規相談件数（相談内容別）

	非行	不登校	発達・子育て	進路・適性	対人関係	その他	合計
1月	0	2	1	0	0	0	3
2月	0	1	1	1	0	0	3
3月	0	1	3	2	1	0	7

2 各月の新規相談件数（相談対象者別）

	幼児	小学生	中学生	高校生	少年	一般成人	合計
1月	0	1	2	0	0	0	3
2月	0	1	1	1	0	0	3
3月	0	4	2	1	0	0	7

3 平成30年度の新規相談受付状況



4 平成30年度の相談ケース数

	非行	不登校	離・子育て	進路・適性	対人関係	その他	合計
男	0	41	38	4	1	0	84
女	1	29	20	1	2	0	53
合計	1	70	58	5	3	0	137

※年度における相談者1人を相談1ケースとする

5 平成30年度の延べ相談回数

	面接	訪問	合計
男	848	3	851
女	625	2	627
合計	1473	5	1478

6 はばたき活動の様子

1 / 23	新春お楽しみ会	(8人)
2 / 6	おにぎり弁当づくり	(4人)
3 / 13	マジック教室	
※相談指導学級と合同(10人)		

3学期は3回のはばたき活動を実施しました。新春お楽しみ会では、すごろくや福笑いなどの日本の遊びを楽しみました。おにぎり弁当づくりでは、おにぎりの中身や握り方、大きさ、のりの巻き方を工夫し、ゆで卵、ウィンナー等のおかずと一緒にオリジナル弁当ができました。マジック教室は相談指導学級と合同で、多くの参加者がマジックを見たり簡単なマジックを覚えてもらったりし、楽しい時間を過ごしました。



今年度のはばたき活動には述べ108人の児童生徒が参加しました。回を重ねると「次のはばたきは何をやるの?」という声も聞こえ、センターの活動の楽しみの一つになっています。

これからも、小集団活動を通して子どもたちへよりよい支援をしていきたいと思いをします。

7 相談指導学級の様子

昨年度の相談指導学級の開級期間は平成30年4月6日から平成31年3月20日まででした。通級者は7人で、内訳は中学3年生が4人、中学1年生が3人で、全員男子でした。

相談指導学級は、小集団による活動を行うことにより人との関わり方を学ぶ場です。初めのうちは慣れない友達との接し方に戸惑っていた生徒も、しだいに打ち解けていきました。相談指導学級では、自主学習、様々な体験活動やスポーツなどを計画的に実施しています。それらの活動を通して、互いに助け合い、いずれの生徒も最後には別れを惜しむ様子が見られました。

中学3年生は、全員希望する高校に進学することができ、「高校に行ったら頑張ります」「新たな気持ちで勉強に取り組みます」など、新しい生活に希望を持って取り組む意欲を持つことができました。また、中学1年生は様々な体験活動に参加したり、基本的な学習をお互いに進めたりする中で、互いにいろいろなことを話し、楽しく指導学級での生活を過ごせるようになりました。そのうちの1人は、4月から学校復帰を目指すことになりました。相談指導学級で蓄えたエネルギーや体験により、これからの生活を切り開いていくことと思います。

本年度も保護者の皆様や学校の先生方などと連携し、通級する児童生徒の生活リズムの回復や学校復帰を支援していきたいと思いをします。

電話相談

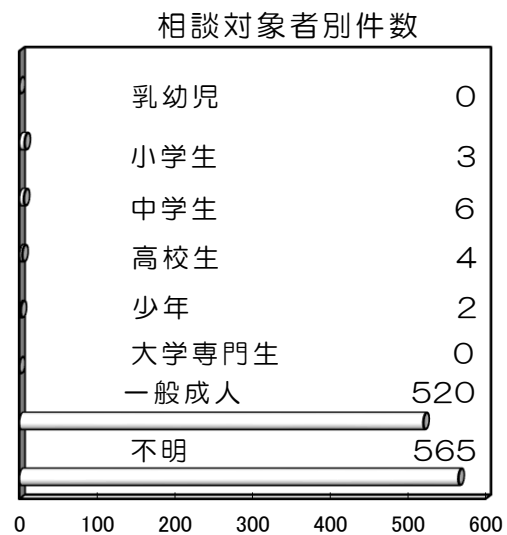
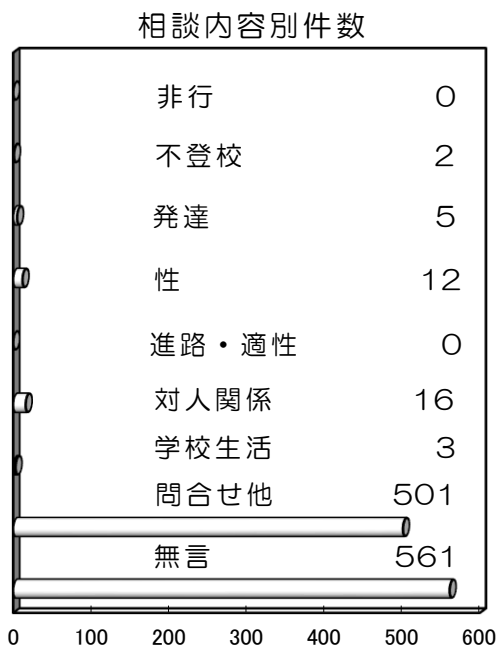


◎非行・不登校・発達・進路・対人関係など青少年に関する相談
 ◎相談時間：午前10時～午後7時 月～金曜日(祝祭日を除く)
 ◎愛称：やまびこ電話 951-7330

平成31年1・2・3月の状況

1月には356件、2月には460件、3月には284件の相談が寄せられました。
 (前年1月：241件、前年2月：326件、前年3月：363件)

1 1・2・3月の相談状況



2 平成30年度の電話相談受信件数状況

総件数4,098件 (前年同期4,514件)

(1) 相談内容別

	非行	不登校	発達	性	進路・適性	対人関係	学校生活	問合せ他	無言
件数	0	4	19	75	1	116	12	1,803	2,068

(2) 相談対象者別

	乳幼児	小学生	中学生	高校生	少年	大学専門生	一般成人	不明
件数	0	15	23	21	6	2	1,942	2,089

◎◎補導の目◎◎



地域全体で子供を育てる

今沢地区母親補導委員 中村聡子

「お父さんとお母さんが心配するから、もう帰りなさい。」
 私が子供だった頃、同じ地域の大人が優しく声をかけてくださいました。友達と遊ぶのに夢中で、小学生が外で遊ぶのには少し遅い時間になりつつある私たちに注意をしてくださったのです。私が子供の頃には、地域全体で子供を育てる心意気があったように感じられます。それが私の子を持つ親になるたった30年余りで様々な環境変化があり、よその子には注意をしなくなりつつあるように思えます。ネット環境も大きく変わり、よその子を注意したことによる同じ地域のトラブル発生を防ぐためなのかもしれませんが、そのような環境だからこそ、市を挙げての補導活動は必要不可欠と思いました。まだ母親補導委員1年目の私が思ったのです。ただ、「補導」に対するイメージは大きく変わりました。今までは、大人が子供へ一方的に注意をするイメージを持っていましたが、実際は頭ごなしではなく、コミュニケーションを大事にした「思いやりの心」でした。活動に「愛の声かけ」という言葉があります。くさい台詞のようにも感じられますが、補導活動をしていると、「なんてぴったりな言葉なんだろう」と感じます。また、子供たちに対してだけではなく、自転車通行禁止の通りを自転車に乗りながら通行している大人に遭遇すれば、愛の声かけを行うのです。まさに地域でルールを守り、地域全体でよりよくしていく活動だと思います。私自身は、まだまだ愛の声かけもできず、ただ寄り添うことしかできない歯がゆさも感じますが、これからの活動を通してたくさん学び、私自身もルールを守る大人になり、母親補導委員として少しでも成長していけるよう、努力していきたいと思えます。



1 少年補導委員の延べ参加人数（1・2・3月）

	市職員	教員	女性補導委員	母親補導委員	地区代表補導委員	警察	地区補導委員	総数
1月	11	18	9	2	10	0	296	346
2月	10	9	14	3	9	0	288	333
3月	6	0	4	2	14	0	360	386

2 補導回数・補導状況（1・2・3月）

	補導回数				注意・指導 愛の声かけ	事後指導	
	午前	午後	夜間	計		学校・親等へ連絡	他機関へ連絡
1月	20	10	39	69	122	0	0
2月	5	9	43	57	129	0	0
3月	2	5	34	41	128	0	0

3 補導活動（平成30年度の累計）

補導回数	延べ参加補導委員数	注意・指導 愛の声かけ	事後指導	
			学校・親等へ連絡	他機関へ連絡
619	4,006	2,313	0	0

4 1・2・3月の街頭補導少年の学識別状況（中央・地区別補導）

補導委員の皆様、1年間、青少年の非行・被害防止にご尽力くださりありがとうございました。本年度は、「愛の声かけ運動」の件数が大幅に増え、「見守りや支援の気持ちを伝える補導活動」を積極的に行う様子が感じられます。平成31年度も引き続き、よろしくお願いします。



区分	学識別	性別	小	中	高	その他学生	有職少年	無職少年	計	一年間累計
			学	学	校					
行 為 種 別	飲 酒	男女							0	0
	喫 煙	男女							0	0
	薬 物 乱 用	男女							0	0
	夜 間 は い か い	男女			2				2	35
		男女			2				2	18
	不 良 交 友	男女							0	0
		男女							0	0
	怠 学 ・ 怠 業	男女							0	0
		男女							0	0
	ゲームセンター入場	男女	5		28				33	233
		男女			32				32	168
	パチンコ店入場	男女							0	0
		男女							0	0
	カラオケ店入場	男女							0	0
		男女							0	0
自転車の暴走行為	男女							0	0	
	男女							0	0	
自転車の二人乗り	男女							0	1	
	男女							0	1	
自転車の無灯火	男女			1	1			2	15	
	男女							0	1	
危険な遊び	男女							0	1	
	男女							0	0	
その他	男女			1				0	14	
	男女							1	3	
計		男女	5	0	31	1	0	0	37	299
		男女	0	0	35	0	0	0	35	191
男女合計			5	0	66	1	0	0	72	490

事後指導	家庭・学校・職場へ連絡	男女							0	0
		男女							0	0
	他機関へ連絡	男女							0	0
		男女							0	0
男女合計			0	0	0	0	0	0	0	0

愛の声かけ運動	男女	122	10	71	4	1	0	208	968
	男女	79	9	79	4	0	0	171	855
男女合計			201	19	150	8	1	379	1823

人生は 常に 清書!

「現在(いま)の自分をリセットできたら……」と、これまで何度思ったことでしょうか。でも、その都度「やり直しは利かない。人生は常に清書だ」と、自分を戒めるしかありませんでした。

「清書」しようとする時、ある種の緊張感が走ります。背筋が伸び、指先に心が集中します。この緊張感が「(万全を期した)さあ、仕上げだ」と感じられる時と、「失敗は許されない」と感じられる時とがあります。

「さあ、仕上げだ」と感じた時は、比較的よい結果が得られ、「失敗は許されない」と感じた時は、失敗に終わったことが多かったように思います。追い込まれた気持ちで臨むと、余分な力が入り、持っている力が発揮できません。反対に、最後だから自分なりに納得して終わろうという気持ちはゆとりを生み、力を発揮させてくれます。

心の持ち様かもしれませんが、それまで(練習)の過程が、最後に生きてくるのだらうと思います。投手であった私は「9回裏2アウト満塁 ボールカウント 3ボール 2ストライク 得点1対0」、こんな場面を想定して、練習に臨むよう指導され、指導者になった後は、選手に話してきました。投手からすれば、ストライクが絶対条件です。三振に仕留めれば、ゲームセットです。打ち取れば、完封勝ちとなります。打者の立場では、ボールには手を出さない、ストライクは見逃さないことが絶対条件です。ボールを選べば、押し出して、同点となります。ヒットを放てば、サヨナラ勝ちです。

トーナメントでは、その「一球」ですべてが決まります。つまり、最後の一球です。「仕上げの一球」です。いざ、その場面を迎えた時、初めて、その事態に緊張感を持つようでは、手遅れです。そうならないために、平素から「一球」「一球」に気持ちを込めて、緊張感を持って、投げ、打つ、練習を繰り返すわけです。

普段の生活の中で「常に、清書」の気持ちを持って過ごせたら。でも、それができないのが「人間」です。それでも、時には、思い起こし、生活を律していきたいものです。

2019年 センターの活動予定 (5・6・7月の主な活動) ※天候による変更あり

相談指導学級体験活動		はばたき活動	
5月9日(木)	農園体験	5月8日(水)	「いっしょに遊ぼう」
16日(木)	調理体験	21日(火)	消防署見学
23日(木)	創作活動	6月5日(水)	びゅうお見学
6月13日(木)	調理体験	27日(木)	海釣り
27日(木)	海釣り	7月24日(水)	海水浴
7月11日(木)	ハイキング	補導関係	
18日(木)	農園体験	5月10日(金)	補導委員会代表者会①
24日(水)	海水浴	29(水) 30(木) 31(金)	新任補導委員研修会
		6月28日(金)	補導委員会感謝状贈呈式
		7月1日(月)	非行・被害防止キャンペーン
		8日(月)	県内一斉夏季補導
		12日(金)	補導委員会代表者会②
		27(土) 28(日)	夏まつり特別補導



明るい子どもが育つまち

青少年健全育成
シンボルマーク



青少年健全育成都市宣言(昭和55年)

あいさつで ひろがる愛の輪 地域の輪

青少年を優しく温かい心で包み込むという思いから、右側は笑顔、左側は手のひら、全体はハート(心)を表しています。